

高度リスクマネジメント技術者育成ユニットの開設

1 ● ユニットの目的と概要

リスクマネジメントの手法を的確、かつ総合的に適用し、各種の安全問題に対し高度な意思決定ができる人材を育成するため、大学院レベルの教育プログラム「高度リスクマネジメント技術者育成ユニット(以下本ユニット)」を安心・安全の科学研究教育センターを拠点として開設しました。これは、文部科学省科学技術振興調整費による平成16年7月1日から平成21年3月31日まで5年間の教育プログラムです。本ユニットでは工学技術と人文・社会科学の両面から多角的に問題を捉え、学生自らがリスク分析の先進的な技術の実習を行い、演習・討論等によってリスクコミュニケーション能力の向上を計りながら、災害防止やリスクの低減といった今日的課題に対する問題解決能力を習得するための教育カリキュラムが組まれています。この人材養成教育の基本的な考え方を図に示します。

本ユニットでは、5年間で修士レベル130名以上、博士レベル5名程度の安心・安全に関わる専門職に従事可能な人材を育成し、社会に輩出することを目標としています。

リスクマネジメント技術者

- ・ 環境保全・災害防止やリスク低減・回避という今日的課題をトータルに扱える。
- ・ 安心な社会を醸成するために必要なリスクコミュニケーションを担える。

人文・社会科学と工学の融合



2 ● ユニットの実施体制と修了要件

本ユニットでは、本学大学院での教育・研究の内容や将来の就職等において、リスクマネジメントに関連する分野を強く志向する本学全研究科・学府の大学院生を対象としています。このため本学所属の教員およびセンター所属の特任教員の合計13名で構成されたユニット実行委員会(教育ユニットの運営・管理・修了認定等の実務を行う)を中心に、全学の協力体制のもと本ユニットが運営されています。

本ユニットの修了要件としては、所属の研究科・学府の修了要件を満たし、かつ必修のユニット特設科目の修得および関連科目群から2科目4単位以上を修得することになっています。これらが確認されればユニット修了が認定され、独自の「ユニット修了証」が授与されます。

3 ● 平成16年度の教育プログラム実施概要

平成16年10月の実質開講までに、本ユニットを全学レベルで具体的に運用するための教育システムの整備および参加を希望する学生の募集等を行いました。その結果、ユニット登録学生においては、2科目4単位まで各研究科・学府間の単位互換が認められるとともに、当初の予定を越える22名の博士前期(修士)学生および2名の博士課程後期(博士)の学生がユニット登録をしました。

ユニット登録学生を対象に、先進的なリスクマネジメント手法の習得を目指す「リスクの分析とコミュニケーション」、演習・実習を主体とする「リスクコミュニケーション・ワークショップA」を本ユニット特設科目(必修科目)として開講しました。また、ユニット推奨科目として「リスクマネジメントのための技術者倫理A、B」、「リスク管理におけるヒューマンファクターズ」、「産業と安全」、「安全文化比較論/安心感の文化的基礎」および「実践的災害リスクアセスメント論」といった6科目を新設しました。さらに、これらに加え各研究科・学府で開講している33科目をユニット関連科目として設定しました。

全ユニット登録学生は、上記開講科目のうち必要な講義および演習科目を熱心に受講し、ほとんどの学生は単位を取得、ユニット2年次生に進級しています。

4 ● まとめ

安全で安心な社会の創生を目指すわが国にとって、災害防止と安全管理のためのリスクマネジメントの策定と実施および事後評価、さらには市民との共生のためのリスクコミュニケーションを担う人材はますます重要なものとなってきています。今後、安心・安全の科学研究教育センターは、このような大学院レベルの人材養成に対し先導的役割を果たしていくつもりです。